

報道機関各位

県民生活文化課

青森県史デジタルアーカイブスのデジタルアーカイブジャパン・アワード受賞について

今年度、デジタルアーカイブジャパン推進委員会（議長：内閣府副大臣）及び実務者検討委員会による表彰制度「デジタルアーカイブジャパン・アワード」が創設され、青森県史デジタルアーカイブスが受賞しました。

青森県史デジタルアーカイブスは、平成8年から平成30年3月にかけて行われた県史編さん事業の成果をもとに、平成31年3月20日に公開し、本県の歴史、文化財、民俗、自然など、様々な分野・時代を網羅した地域の総合的なアーカイブスとして多くの方々から利用いただいています。

つきましては、本受賞及び青森県史デジタルアーカイブスについて、周知くださるよう御協力をお願いいたします。

記

1 デジタルアーカイブジャパン・アワード創設の趣旨について

デジタル化の推進、コンテンツのオープン化の推進、デジタル技術を用いた新しいサービスの提供等、デジタルアーカイブを日常にする取組を広く社会に紹介し、その活用の機運を盛り上げるため、今年度創設。

2 2022年受賞機関・個人

青森県環境生活部／青森県史デジタルアーカイブ

独立行政法人国立文化財機構／ColBase：国立文化財機構所蔵品統合検索システム

県立長野図書館／信州デジタルコモンズ

一般社団法人全国美術館会議

立命館大学アート・リサーチセンター

大井将生（東京大学大学院学際情報学府博士課程／TRC-ADEAC 特任研究員）

沖縄県南城市教育委員会／なんじょうデジタルアーカイブ

3 青森県史デジタルアーカイブスの受賞理由

青森県史編さん事業で収集した資料をデジタルアーカイブとして分かりやすく提供し、ジャパンサーチと連携（令和3年8月）した先駆的な取組であり、県にまつわる歴史的な資料・情報の利活用の在り方を示した。また、オープンな利用条件の設定にも配慮している。こうした県史アーカイブの活用推進による地域情報の発信に係る活動を高く評価した。

4 授賞式（オンライン開催）

令和4年8月25日開催のデジタルアーカイブフェス2022（ジャパンサーチ・デイ）において実施済（賞状及びトロフィーは後日送付）

5 青森県史デジタルアーカイブスについて

県史編さん事業において全36巻を完成したが、20年余りにわたり収集した資料は、7万2千件以上に及ぶ膨大な資料群を形成する貴重な歴史的資料となっている。

本年7月末現在、所要の整理を終えた資料及びテキストデータ合わせて7万8千点余りを公開している。

報道機関用資料提供（連絡先）	
担当課	環境生活部 県民生活文化課 文化・NPO活動支援グループ 担当者名 専門員 古川 淳一 副参事 遠藤 克敏
電話	内線 6536
番号	直通 017-734-9238
報道監	環境生活部 次長 館 栄